

鳥取県内の港湾・漁港における再生可能エネルギー導入状況等

平成 24 年 7 月 23 日

鳥取県環境立県推進課

1 洋上風力発電等再生可能エネルギー導入等の現状

平成 23 年度末での県内における再生可能エネルギー等の導入状況は下表のとおり。

風力発電については、陸上風力のみ 41 基 59,100 kW の設備が導入済みであり、港湾・漁港等への洋上設備は未導入である。

平成 24 年 3 月現在
単位 [kW]

年度		H14以前	H15～H18	H19～H22	H23	合計
風力発電	計	600	27,000	31,500	0	59,100
	内訳	旧泊 600kW×1基 600	大山町 1,500kW×1基 1,500 県(空山) 1,000kW×3基 3,000 北栄町 1,500kW×9基 13,500 民間(大山町) 1,500kW×6基 9,000	民間(大山町) 1,500kW×8基 12,000 民間(琴浦町) 1,500kW×13基 19,500		
太陽光発電	計	2,404	5,326	7,986	5,119	20,835
	内訳	住宅 2,076 非住宅 328	住宅 5,063 非住宅 263	住宅 6,739 非住宅 1,247	住宅 4,918 非住宅 201	18,796 2,039
バイオマス (発電・熱)	計	379,988	81,075	9,739	12,636	483,438
	内訳	民間ボイラ 民間企業 360,947 民間企業 291 民間企業 18,750	民間ボイラ 80,011 民間チップボイラ 460 ハレットボイラ 山陰海岸学習館 116 ハレットストーブ(61台) 488	ハレットボイラ 西部総合事務所 1,740 食肉衛生検査所 35 大山町中山支所 210 南部町法勝寺庁舎 420 民間木屑ボイラ 6,250 民間木質ボイラ 500 ハレットストーブ(73台) 584	民間木屑ボイラ 12,500 ハレットストーブ(17台) 136	
小水力発電 (10,000kW 以下)	計	74,668	120	0	1,100	75,888
	内訳	中国電力 35,712 県企業局 36,300 小水力協会 2,656	中国電力 120 民間 0.2		県企業局 1,100	
水力発電 (10,000kW 超)	計	41,500	0	0	0	41,500
内訳	中国電力	41,500				41,500
再生可能 エネルギー計		499,160	113,521	49,225	18,855	680,761
累計		499,160	612,681	661,906	680,761	
H15からの累計			113,521	162,746	181,601	
その他(廃 棄物等)	計	29,445	155,594	160	0	185,199
	内訳	民間ボイラ 米子クリーンセンター 4,000 民間企業 25,445	民間ボイラ 155,594	民間ボイラ 160		
計	528,605	269,115	49,385	18,855	865,960	
累計	528,605	797,720	847,105	865,960	865,960	

注:小水力発電10,000kW以下はNEDOの分類による。

2 今後の予定

泊沖洋上風力の計画(3,000 kW×10基)があるが、固定価格買取制度において洋上風力発電専用の調達価格が設定されていないことや風況調査にあたっての技術的課題などにより、事業者が事業展開を控えている状況。

湯梨浜沖で風力発電

企業が風況など調査計画

12年中に10基

鳥取県湯梨浜町沖で、民間企業が洋上風力発電施設の建設を目

指して調査を計画していることが、29日まで計画が順

調に進めるのは、建設コンサル

は、鳥取大学の松原雄平教授を会長とする県



2年1月に着工、同年秋までには施設が完成し、同年末に稼働する見通し。洋上風力発電施設は国内ではこれまで岸壁や防波堤の横に

本格的な調査実施に当たっては県漁協との合意が必要で、現在、調整が進められており、合意が得られれば、沖合1・5〜2キロで調査がスタート。風況、地盤、潮流、環境などの調査が行われる。洋上風力発電は▽障害物がないため、陸上

より効率よく風が受けられる▽水中の構造物が漁礁となる一などのメリットがあるといつ。湯梨浜町の宮脇正道町長は「環境や景観との調和など、さまざまな問題がクリアできれば進めてほしい」と話している。

N P

【ニューヨーク共同】3日から国連本部で開かれていた5年に1度の核拡散防止条約(NPT)再検討会議は最終日の28日午後(日本時間29日午前)、「核